

## 米国でおきている「MLS 5.0」旋風を新春に読んでおく！

新しい2009年の年が明けました。おめでとうございます！ さて、本号では【2009年展望 / 新春企画】 / 「展望3 / 米国の不動産ネット最前線はどこに向かうのか」(11ページ)で、「米国の揺れるMLS戦略」に少しだけふれているのですが、紙幅の関係で「What Is MLS 5.0?」という衝撃的な論文を紹介できませんでした。

折角の訳文(要約)でもありますので、「日本の不動産仲介業のプラットフォームは今後どう進化していくべきなのか」という視点から、骨子を紹介させて頂けませんか。

「What Is MLS 5.0?」は、米国の『RIS Media Real Estate News』に2008年8月11日にSaul Klein氏によって投稿され、同氏が運営する『Real Town』で全文(Word Document)とPDFが公開されている。

<http://www.realtown.com/docs/MLS-Vision.doc> <http://www.realtown.com/docs/MLS-Vision.pdf>

筆者は、現在、不動産業のSier(エス・アイアー)とも言うべきPoint2 TechnologiesのCEOにして、業界ネットワーク『Real Town』を運営！ 1993 President of the San Diego Association of REALTORS® and Designated REALTOR® of the Year in 1999にして、California Association of REALTORS®(CAR)のでの豊富な活動歴を持つ！

NAR会員の業務支援ソフト『e-PRO』(2001年から)の開発・推進者であり、16年のREALTOR(経営)体験のベテランである

Internet Crusade®(インターネット十字軍)のSaul Klein氏(San Diego在住)は、「What Is MLS 5.0?」で何を訴えようとしているのだろうか。

**〔リード文〕**今日のMLSの流れには、健全で強固な基礎を築くために何が要求されているのでしょうか。この論文は、こうした質問に答えて、不動産業について議論する根拠を作成することを試んでいます。

オープンでフラクに議論してください。将来の不動産の買い手(Buyers)および売り手(Sellers)の期待に対して、REALTORは、どのような組織でどのような位置からサービス(ツール)を提供すべきなのかについて。この論文は、ロードマップではなくビジョンです。

MLSは情報が増殖していくオンライン環境の新しい時代の中で、広く総括的な感覚で再定義される必要があるでしょう。

MLSは、(REALTORに要求されている)相互理解と協力(の提示)を越えていくものです。しかしどのように、さらにもっとたくさん? その決定はあなたの責任です。

**〔Conclusion(結論)〕**Traffic(アクセス)を最大に運んでくれるのはどこでしょうか。

Craigslist, Google, Yahoo, and other sitesは、いかがでしょうか。過去の日(5年ほど前に)にCraigslist, Google不動産の今日の姿(本誌4ページの『未来戦略』/Google不動産サイト「Housing」が凄いことに!を参照下さい)を誰が予想したのでしょうか?

ポイントはMLSの再定義。

像を食べる方法が見つからないのに“one bite (byte) at a time.”の時代がやってこようとしているのです。Do! Action

〔総集編&動画〕What is MLS 5.0? / 日米の不動産仲介業は今後どう進化していくのか  
こちらどうぞ / Blog 『不動産戦略e-REVIEW』編集長日記のエントリー

<http://fudou3.jugem.cc/?eid=5666>